

科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方

日時：令和元年10月3日（木）13:00～17:00

場所：日本学術会議講堂（東京都港区）

参加申込：フォーム（<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0067.html>）にアクセスし、必要事項を記入してください。

【講演】

スポーツ庁の紹介・社会におけるスポーツの役割

藤江陽子（スポーツ庁審議官）

1964年東京オリンピック選手、その後の体力と健康

川原貴（日本スポーツ協会スポーツ医・科学専門委員会委員長）

ライフステージにおける「スポーツの価値」の普及；老後に備えて貯金と貯筋

福永哲夫（元鹿屋体育大学学長）

社会モデルから問う競技環境構築の議論－障害のあるアスリートに着目して－

田中暢子（桐蔭横浜大学教授）

スポーツとメンタルヘルス

神尾陽子（日本学術会議第二部会員，お茶の水女子大学客員教授）

スポーツの現場－トップアスリートの能力，スポーツの普及，スポーツにおけるコーチング－

田嶋幸三（日本学術会議特任連携会員，日本サッカー協会会長）

総合司会：田原淳子（日本学術会議連携会員，国士舘大学教授）

【パネルディスカッション】

「勝利に向かう一元的価値から多様な価値を承認する社会へ

－スポーツと科学ができること－」

ファシリテーター

パネリスト



渡辺美代子

（日本学術会議副会長，科学技術振興機構副理事）



喜連川優

（日本学術会議連携会員，情報・システム研究機構国立情報学研究所所長，東京大学教授）



高瀬堅吉

（日本学術会議連携会員，若手アカデミー幹事，自治医科大学教授）



田嶋幸三

（日本学術会議特任連携会員，日本サッカー協会会長）



山極壽一

（日本学術会議会長，京都大学総長）



山口香

（日本学術会議特任連携会員，筑波大学教授）



來田享子

（日本学術会議連携会員，中京大学教授）

主催：日本学術会議
後援：スポーツ庁